

2019年04月17日

課題名：新生児医療における疼痛ケアの効果についての検討

◆研究の目的と概要◆

本研究では、新生児において痛みを伴う介入時にそれを緩和できるようなケア（包み込み、おしゃぶり、声掛けなど）を積極的に行うことにより、児のストレス反応を弱めて、児のQOLの改善に寄与できることを証明し、疼痛緩和ケアの有効性について評価して、よりよい新生児医療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年3月から、2019年3月までの間に、当院新生児室に入院された児。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、在胎週数、出生時体重、アプガースコア値、血液ガスデータ所見、観血的または非間欠的動脈圧測定値、尿量、投与薬剤名とその投与期間、超音波検査所見、採血前後での痛みのフェース・スケール値

◆研究方法◆

本研究は過去の診療記録（カルテやバイタル表）を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

小児科 研究責任者 高橋 章仁

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明